

三茶のミライ(三軒茶屋駅周辺まちづくり基本計画)(素案)への  
区民意見と区のお考え方について

## 1 区民意見募集概要

## (1) 意見募集期間

令和3年9月15日(水)～令和3年10月6日(水)

## (2) 周知方法

区のおしらせ「せたがや」9月15日号、ホームページ、区公式 Facebook、  
Twitter、メールマガジン、YouTube 配信、区政PRコーナー、  
第4回三軒茶屋駅周辺まちづくり会議(令和3年9月25日開催)

## 2 区民意見提出状況

## (1) 区民意見募集

意見提出人数 18人(封書1人、ファクシミリ1人、持参1人、ホームページ15人)

合計意見数 37件

大項目	中項目	件数
第1章 「三茶のミライ」策定の趣旨	背景と目的	
	策定にあたって	
	対象区域	
	位置付け	
	基本方針	
第2章 「三茶のミライ」で 描くまちの未来像	「まちの未来像」の描き方	
	まちづくり会議と まちづくりシンポジウム	
	まちづくりのテーマ	
	9つの未来像	1
	基本方針の方針・方策と 9つの未来像の繋がり	
第3章 9つの未来像実現に向けて	体系	
	まちの姿	19
	9つの未来像実現のための取組み	
	まちの空間デザイン	4
第4章 今後の展望	まちづくりの推進	2
	推進体制	
	推進プロセス	4
その他	その他	7

### 3 区民意見募集における意見の要旨と区の考え方

番号	意見の要旨	大分類	中分類	区の考え方(案)
1	自身も参加したまちづくり会議での意見を9つの未来像にまとめているが、もう少しシンプルなキャッチが必要と感じ、つまるところ「職住遊のまち 三軒茶屋」を目指したいのだと思う。「職住遊」というシンプルなワードにし、それぞれがその項目に何が足りないか、何を自ら足して行きたいのか、それを積み上げるのがいい。	第2章	9つの未来像	平成31年3月に策定した「三軒茶屋駅周辺まちづくり基本方針では、まちのビジョンに「進化し続ける交流のまち『三茶 Crossing』」を掲げております。「三茶のミライ」は、このまちのビジョンを実現するために、「みんなの計画」として、区民・事業者・町会・商店街・大学など三軒茶屋駅周辺に関わりを持つ多様な主体が参加する、まちづくり会議やシンポジウムにおいて、出し合った意見を大切にしながら導き出した9つのテーマを基に、未来像を描いてきました。今後、地域の方をはじめ三軒茶屋に関わりを持つ方々と、できることから始めて、まちの未来像実現のための取組みを積み上げてまいります。
2	世田谷区の玄関であり、電車・バスのアクセスも良いのに、夜の食事・飲み屋街に見えるのは勿体ない。三茶らしい文化的な街が、赤ちゃんからお爺ちゃんお祖母ちゃんまで、居心地の良い場所になることを期待する。	第3章	まちの姿	「三茶のミライ」の未来像1に、「まち全体がアートや文化であふれる」姿を描いております。また、未来像4には実現するための取組みとして、「街区一体化などの面的整備に合わせまちづくり活動ができる広場空間整備」や「滞在性を向上させる公共的な空間の利活用の推進」を示しております。今後、三軒茶屋に関わりを持つ多様な主体と連携した社会実験や身近な活動などを実践し、居心地の良い空間づくりを進めてまいります。
3	再開発は、高い建物を建てるイメージがあり、それでは、三角地帯の景観や温かみが守りにくそう。しかし、防災の観点から耐火の建物にするため、個別の建て替えにあたり	第3章	まちの姿	「三茶のミライ」には、未来像2を実現するための取組みとして、「魅力あるまち並みなどを継承するためのまちづくりルールの構築」を示しております。今後、三軒茶屋に関わりを持つ多様な主体と連携した社会実験や身近な活動などを実践

	区が補助金を出してもらえると助かる。			し、界わい性を育むまちづくりを進めてまいります。 また、防災の観点から建て替え時補助金等が交付される制度の利用には、条件等がありますので、いただいたご意見につきましては、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
4	子どもと訪れて楽しい街になると嬉しい。子供と三茶に行くと交通量の多い大通り（危険性や騒音など）や、ゆったりできる広場やベンチがない、子連れで入れる店が少ない、雨の日に過ごす屋内や地下施設が少ないという「居づらさ」がある。	第3章	まちの姿	「三茶のミライ」には、未来像4を実現するための取組みとして、「商業空間の利活用により回遊性を高めるための休憩場所などの整備」や、「質、量ともに豊かな地域にするための緑地空間整備」を示しており、まちなかに人が座れる場づくりなどの社会実験を実施することで具体化し、子どもの視点も大切にし、これを繰り返し、三軒茶屋駅周辺に関わりを持つ方々とともに、居心地の良い場所を生み、まち並みとみどりが調和したまちを実現するため、まちづくりを進めてまいります。
5	子供達の「遊」の場をどれだけ作れるか。ふれあい広場やいろいろな空間をもっと子供に解放できないのか。引き続き一緒に考えていきたい。	第3章	まちの姿	「三茶のミライ」には、未来像4を実現するための取組みとして「滞在性を向上させる公共的な空間の利活用の推進」を示しており、子供の視点も踏まえて、今後具体的な取組みを地域の方をはじめ三軒茶屋に関わりを持つ方々とともに実践し、まちづくりを進めてまいります。
6	子育て世代向けのスペースやコミュニティの充実として、三軒茶屋交差点近くに、大人はくつろぎ子供も楽しめるスペースがあるとありがたい。子供の遊び場や交流の場は少なく、散歩に行き必要な買い物をして、その後ゆっくり遊べる場所がないので滞在時間は短くなる。			
7	三軒茶屋には、玉川通りがあり、騒音、日当たりが悪く、健全な街の体をなしていない。交通・運輸・輸送の点か	第3章	まちの姿	「三茶のミライ」の未来像4に、「まちなかに広がる公共空間が居心地の良い場所を生み、人とまちを繋いでいる」まちの姿を描いております。ま

	ら街をどうすべきか。商店街を別の所に移転することも含めて、集中より分散を考えて、再検討すべきである。			た、未来像6に、「古くからの街道の分岐点であることや公共交通が充実している利便性を生かす」まちの姿を描いております。これを実現するための取組みの一つに、「交通利便性向上を目指した公共交通などの乗換え機能の集約」を示しており、今後、社会実験を中心とした多様な主体と連携した身近な活動や、まちの空間デザインの検討を通じて、これらの実現に向けて取り組んでまいります。
8	衛生環境改善として、各テナントの衛生観念向上の啓蒙活動を一層強化し、地域や商店街全体として一体感を持って衛生向上に取り組んで頂きたい。	第3章	まちの姿	「三茶のミライ」には、未来像4に「駅周辺は清潔感あふれる」まちの姿を描いており、これを実現するための取組みとして「定期的な美化活動及び路上喫煙禁止の啓発活動の推進」を示しております。身近な困りごとの解決など、できることから始めて、地域の方をはじめ三軒茶屋に関わりを持つ方々とともに取組みを着実に積み上げ、まちづくりを進めてまいります。
9	三軒茶屋地域や商店街に人が回遊する事で、地域特性が多様化し、文化や歴史がつくられ、商店街も発展するため、南北の回遊性を高める事は重要だと思う。建物の間の2階以上の部分をつなげ地下空間を開発して、地上に人が歩かないような動線の開発は望ましくない。	第3章	まちの姿	未来像5を実現するための取組みとして、「南北方向の分断回避を目指した道路横断機能の整備」を掲げております。また、まちの空間デザインの大切な4つのポイントのうち、「歩行者空間の充実、スムーズな移動や乗換え、回遊性の向上」や「南北移動の円滑化、地下空間の活用・創出」を掲げており、まち全体を繋げ、誰もが行きたいところに安心して移動できるまちを実現するためにまちの空間デザインの検討、公共施設など地域資源の利活用など地域の方をはじめ三軒茶屋に関わりを持つ方々とともに実践し、まちづくりを進めてまいります。
10	未来像5の取組み「新たなモビリティなどの活用による利便性向上促進」実現のため、自動運転を見据えたオンデマンドバス、キックボードなど	第3章	まちの姿	未来像5を実現するための取組みとなる「新たなモビリティなどの活用による利便性向上促進」については、様々な手法が考えられるため、イラストを用いて表現しております。新たなモビ

	具体的なモビリティの記載、新たなモビリティが利用しやすいようモビリティ空間整備について、追加記載の検討をお願いしたい。			リティが利用しやすい空間整備の追加記載については、いただいたご意見を踏まえ、取組みを「新たなモビリティなどの活用による利便性向上促進および環境整備」と変更いたします。今後、社会実験を中心とした多様な主体と連携した身近な活動や、まちの空間デザインの検討などの未来像実現のための取組みを推進し、まちづくりの気運と熟度を高めていきます。
11	大通り（国道246号や世田谷通り）で分断されており、子供を連れての階段の上り下りや交差点を渡るのは躊躇する。三軒茶屋交差点を中心に周囲を回遊するコミュニティビークルやパーソナルモビリティなどがあれば気軽に足を伸ばして三軒茶屋広域を楽しめる。自動運転の低速周遊バスや小型グリーンスローモビリティなど、子供も楽しめるので、検討頂きたい。	第3章	まちの姿	「三茶のミライ」には、未来像5を実現するための取組みとして、「新たなモビリティなどの活用による利便性向上促進」を示しており、新たなモビリティなどの様々な移動サービスが連携しているまちを実現するため、社会実験を中心とした多様な主体と連携した身近な活動や、まちの空間デザインの検討、公共施設など地域資源の利活用などを実践し、まちづくりを進めてまいります。
12	未来像6の取組みについて、駅から地上への動線は狭い階段とエレベーター2基で、広く歩きやすい階段、エスカレーター、エレベーター、地下空間の整備といった歩行者ネットワーク改善による交通結節点としての駅の利便性向上、人々の活動促進について追加記載の検討をお願いしたい。	第3章	まちの姿	「三茶のミライ」には、未来像5を実現するための取組みとして「通行環境の向上を目指した歩きやすい歩行者空間整備」を示しております。また、未来像6を実現するための取組みとして、「交通利便性向上を目指した、公共交通などの乗換え機能の集約」や、「地下空間における魅力ある広場などの創出」を示しております。歩行者ネットワーク改善には、多くの課題が複合的に関わっています。そのため、三軒茶屋駅周辺に関わる多様な主体と社会実験を中心とした身近な活動や、まちの空間デザインの検討、公共施設など地域資源の利活用など未来像実現のための取組みを推進し、まちづくりの気運と熟度を高めていきます。

13	世田谷線三軒茶屋駅から田園都市線三軒茶屋駅へのアクセスが悪く、歩く途中で雨に濡れ、喫煙所から煙も流れる。アクセス通路の途中に、イベントスペースや店などは不要。通勤や行楽で三軒茶屋は通過点である。	第3章	まちの姿	「三茶のミライ」には、未来像6を実現するための取組みとして、「交通利便性向上を目指した公共交通などの乗換え機能の集約」を示しております。拠点ならではの、機能が集約され、乗換えアクセスを改善していくためにも、三軒茶屋駅周辺に関わる多様な主体とともに今後具体的な取組みを検討し、まちづくりの気運と熟度を高め、まちづくりを進めてまいります。
14	世田谷線改札前と、世田谷線～田園都市線の乗換経路にある三茶パティオの一部に屋根がなく、雨の日に傘を差さざるを得ないので、屋根をつけてほしい。			
15	国道246号の歩道が狭すぎる。田園都市線三軒茶屋駅も狭すぎる。246号の下に地下道や地下街を作れないか。	第3章	まちの姿	「三茶のミライ」には、未来像5を実現するための取組みとして「南北方向の分断回避を目指した道路横断機能の整備」を示しており、未来像6を実現するための取組みとして「地下空間における魅力ある広場などの創出」を掲げております。今後、国道246号を管理する国土交通省をはじめ、鉄道事業者など、関係機関と調整しながら、人々の活発な活動を支えるまちづくりを進めてまいります。
16	「三軒茶屋は世田谷区の表玄関」という言葉に相応しいものが描かれていない。表玄関といえば行政の中心施設が集約していることが想定されるが、区役所の大きなものはなく、せめて総合支所くらいは移転しても良いと希望する。「表玄関」と表現するに相応しく、世田谷区が覚悟を決めて取り組む姿を見せて欲しい。更に例えだが、未来像7に災害に強く、安全・安心のあるまちとあり、老朽化した消防署を取り込み、防災セン	第3章	まちの姿	区は公共施設等総合管理計画を策定し、将来的な財政見通しに基づき、公共施設の適切な管理、更新等に取り組んでいます。限られた施設や財源の中で、施設の長寿命化、複合化、多機能化、官民連携による施設整備を基本に、効果的・効率的な公共施設整備を進め、既存施設を最大限に有効活用していくことが必要です。「三茶のミライ」における未来像6の実現のための取組み「公共施設機能の複合化、多機能化」や地域の施設需要などを踏まえつつ、街づくりの進展や施設の大規模改修などの機会を適切に捉え、検討を進めてまいります。

	ター機能も併設するといった姿勢を見せて欲しい。			
17	アートの予算は割かないで、インフラ整備に金をかけて、安全安心の街づくりを行ってほしい。老朽化したマンション等を再開発して、安全安心な街にしてほしい。	第3章	まちの姿	「三茶のミライ」の未来像7に「災害に強く、安全・安心のあるまち」を描いており、建物の不燃化、耐震化、防災空間の充実などにより防災性が向上しているまち実現のために、まちの空間デザインの検討、公共施設など地域資源の利活用などの未来像実現のための取組みを推進し、まちづくりの気運と熟度を高めていきます。
18	三軒茶屋及びその周辺は、地震による大規模火災になる危険性が大きいと、周辺部を含めて大規模火災の起こらない街をつくること。			
19	三軒茶屋地域の生活環境の安心安全を向上させる開発をしていただきたい。夜間・深夜営業の飲食店が増えており、酔っ払い等（落書き）、治安が乱れるようになった。深夜人口を増やすような開発はしないでいただきたい。	第3章	まちの姿	「三茶のミライ」には、未来像7を実現するための取組みとして、「まちの治安維持・向上を目指した仕組み構築」や「防犯パトロール活動の継続体制構築と防犯体制の担う人材育成」を示しており、身近な困りごとの解決など、できることから始めて、地域の方をはじめ三軒茶屋に関わりを持つ方々とともに取組みを着実に積み上げ、まちづくりを進めてまいります。
20	三軒茶屋は小規模な店舗が多くそれが魅力でもあるが、まち全体で統一的な情報発信がされると、知らなかった場所や店舗を知るきっかけになる。地域 SNS や地域通貨の利用促進、地域の店舗の混雑状況が可視化できるサービス導入など、まち全体で情報発信やデータ基盤を整えることで、日々足を運ぶ人の利便性向上が増していく。	第3章	まちの姿	まち全体の情報発信がされることは、大切なことと考えております。いただいたご意見を踏まえ、未来像9を実現したまちの姿において、「様々な形でまちづくりに関われる機会が提供されている」から「様々な形でまちづくりに関われる機会や情報が提供されている」と変更いたします。 また、未来像実現するための取組みの「自主的なまちづくり推進体制および取組み参加推進の仕組み構築」から「自主的なまちづくり推進体制および日常的な情報発信などによる取組み参加推進の仕組み構築」に変更し、三軒茶屋駅周辺に関わりを持つ方々の人々の利便性向上に向けて、まちづくりの気運と熟度を高めていきます。

21	<p>未来像6の取組み「公共的空間の活用促進」の前提として、多様な主体による質・量ともに高いレベルでの公共的空間の創出を促すため、官民連携による公共的空間の整備について追加記載の検討をお願いしたい。</p>	第3章	まちの空間デザイン	<p>「三茶のミライ」は、「みんなの計画」を基本理念としており、まちのビジョンを実現するために、まちの未来像を思い描き、三軒茶屋駅周辺に関わりを持つ多様な主体である「みんな」で、まちの未来像実現のための取組みを着実に積み上げていくことを背景と目的に記載しております。また、第3章におけるまちの空間デザインの大切なポイントとして、「拠点性を生かした都市機能集積、パブリックスペースの創出、防災性の向上」や「歩行者空間の充実、スムーズな移動や乗換え、回遊性の向上」を示しており、市街地の再構築による拠点の創出や、機能集積と合わせて広場空間整備や延焼遮断帯などの形成を図っていき、質・量ともに豊かな地域にするための緑地空間や歩きやすい歩行空間などを充実させるためのまちづくりを進めてまいります。</p>
22	<p>パブリックスペース確保には街区の再編、高度利用が前提となるため、「拠点性を活かした都市機能集積、パブリックスペースの創出、防災性の向上」の考え方に高度利用の追加記載の検討をお願いしたい。</p>	第3章	まちの空間デザイン	<p>未来像6を実現するための取組みとして、「市街地の再構築として高度利用などによる魅力ある拠点の創出と商業・業務・滞在施設など機能の集積」を示しております。また、まちの空間デザインの大切な4つのポイントの「拠点性を生かした都市機能集積、パブリックスペースの創出、防災性の向上」の考え方として、「拠点ならではの機能の集約や防災性の向上を一体的に進め、市街地の再構築による拠点の創出や、機能集積と合わせて、広場空間整備や延焼遮断帯の形成等を図っていく」を示しており、今後高度利用を含めた機能の集積により、防災性向上実現に向け、社会実験を中心とした多様な主体と連携した身近な活動や、まちの空間デザインの検討、公共施設など地域資源の利活用などの未来像実現の</p>



				ための取組みを推進し、まちづくりの気運と熟度を高めていきます。
23	歩道拡幅や仮設物を用いた小規模なまちの居場所づくりなど、定石の手法や小さなアクションの積み重ねと並行して、ぜひチャレンジングな都市デザインが実現することを期待している。	第3章	まちの空間デザイン	より多くのまちづくりの担い手が、次の行動を起こすきっかけとなるよう、今ある空間の多様な利活用や新たな空間の創出及びその利活用、さらにまちづくりの仕組みやルールの構築を一体的に捉え、「まちの空間デザイン」としてまとめております。今後、まちの空間デザインに関する取組みについて、社会実験などを実施することで具体化し、一つひとつの取組みが繋がり加速し、また、新たな取組みも加わり、みんなが連携した社会実装に繋がっていきます。
24	三軒茶屋のような回遊性のポテンシャルの高いまちのビジョンにおいて、ウォークラブルなまちづくりと関連するキーワードが多数盛り込まれたことは、大変うれしい。特に、シェアドスペース、時間指定レーンマネジメントなどは、ストリートデザイン・マネジメントの主流となりそうなキーコンセプトで、是非積極的に取り組んでいただきたい。	3章	まちの空間デザイン	今ある空間の多様な利活用や新たな空間の創出及びその利活用、さらにまちづくりの仕組みやルールの構築を一体的に捉え、「まちの空間デザイン」としてまとめており、今後、まちの空間デザインに関する取組みについて、社会実験を中心とした身近な活動や、公共施設など地域資源の利活用など未来像実現のための取組みを推進し、みんなが連携した社会実装に繋がってまいります。
25	区民と行政が共に歩むための翻訳をするようなしなやかさとクリエイティビティを備えた公民の中間組織があると良い。理論的には正しいのに実行されない場合、そこに欠けているものは何か。河を渡る橋を三軒茶屋からまずかけてほしい。	第4章	まちづくりの推進	まちづくりの担い手が育ち繋がる仕組みを支えていくには、行政主体ではなく、まちづくりを中立的で支援する組織が、まちづくりの推進における機能的でオープンな体制の一翼を担っていくことが望ましいと考えております。今後、みんながまちづくりに関わることができるまちづくり推進体制の構築をしていきます。
26	「推進体制」について、TMO（BIDが良い）を法人化して早期に活動できるように望む。参加者は一株主となり、責任ある参加主体としなり、			

	区も出資して一定の責任（当初の中心市街地活性化法の時のように）を持って参加頂きたい。			
27	9つの未来を実現するために、今後の基本計画、基本設計、実施設計に携わりたい。	第4章	推進プロセス	「三茶のミライ」を基に、新たなまちづくりの担い手や支援組織の育成のため、まちづくり会議を継続的に開催していきます。また、社会実験を中心とした多様な主体と連携した身近な活動や、まちの空間デザインの検討、公共施設など地域資源の利活用などの未来像実現のための取組みを推進し、まちづくりの気運と熟度を高めていきます。さらに、学識経験者や地元有識者などの助言も受けながら、まちづくりの担い手が積極的かつ様々な形で関与できる、推進体制の構築を進めていきます。今後もご参加お待ちしております。
28	パブリックスペース活用による「くつろぎ、拠点性、地域参加」は、魅力的なまちには欠かせない。一方、各未来像がどの形になればゴールか？をより明確にすべき。例えば、キャロットタワー、ふれあい広場など、数多くの活用事例があり、事例を深掘り・見つめ直し、より具体的な未来像を描く、この先区民と考える機会を改めて作って頂きたい。			
29	まちづくり会議などに参加し、三軒茶屋に関心のある人が沢山いることが分かった。誰もがまちづくりに関われる未来が一番大事と思い、いい街になるかどうかの分かれ道は、自分達の街を自分達で作っていくという当事者がどれくらいいるかだ。今後も積極的に参加し、作り手の一人として関わっていききたい。			
30	9つの未来像は、すぐに取り組めるものから長期的なものまである。街づくりは単線ではなく複線で取り組むのが良いので、推進体制が整ったら、それぞれのロードマップを描いて、複数のチーム編成で取り組むと良い。 まちの姿・未来像は、時代とともに変わるので、これから	第4章	推進プロセス	社会実験や多様な主体と連携した活動のフィードバックからまちづくり活動と広域生活・文化拠点としてのまちの発展に向けた取組み内容を具体化し、その取組みを計画的に進めていくためにも、まちづくりの担い手が積極的かつ様々な形で関与できる、推進体制の構築を進めていきます。今後まちづくり会議を継続して開催していきます

	も参加し、皆さんと議論を重ねていきたい。			ので、引き続きご参加お待ちしております。
31	区民サービスの地域格差・偏りを是正するため、文化関連事業に関して、二子玉川地区においても三軒茶屋と同等に区の資源の投下を要望する。	その他	その他	区の文化・芸術事業については、区民サービスの地域格差や偏りが生じることのないよう、関係機関と連携し取り組んでいきます。いただいたご意見については、今後の文化・芸術振興施策の参考とさせていただきます。
32	従来実施されてきた文化関連事業の一定部分について、玉川総合支所せせらぎホールを意図的・積極的に活用するよう要望する。	その他	その他	区では、区民の誰もが文化・芸術に触れ、体験・参加し、気軽に楽しむ機会を創出するため、区内各地域のさまざまな施設を利用し文化・芸術事業を展開しています。玉川せせらぎホールの活用につきましては、今後の事業計画検討の参考とさせていただきます。
33	三軒茶屋は、世田谷区の交通の中心であり、交通網を如何に整備するかが大きな問題である。世田谷線の他の手段を考慮すべきである。世田谷区役所への移動はどのようにするのか？新しい交通ネットワークが必要だろう。	その他	その他	現在、三軒茶屋から世田谷区役所への移動には、東急世田谷線、世田谷通りを走行する路線バスのほか、タクシー等を利用する方法が考えられます。今後も事業者と連携し、交通ネットワークの充実に取り組んでまいります。
34	区最南部（東玉川、奥沢一丁目～四丁目）から自由通りを経由して、三軒茶屋及び区役所へ直行するバス路線の新設を推進するよう要望する。	その他	その他	区では南北公共交通の強化や公共交通不便地域対策に取り組んでおりますが、新たなバスの導入には、事業の採算性やバスが通行する道路の安全性の確保、沿道住民の理解など、課題が少なくありません。公共交通の利便性の向上のため、今後もバス路線の再編などにあわせて、事業者と連携して取り組んでまいります。
35	国道246号と茶沢通りの合流地にある三軒茶屋は、大量の水流がぶつかり水害の恐れがあると考えますが対策はどうなっているか。	その他	その他	国道246号と茶沢通り等が交差する三軒茶屋交差点付近は、周辺地域より標高が高い箇所となっており、過去の浸水確認箇所一覧（平成元年～令和3年10月）において、区が把握している浸水は確認されておりません。一方で、交差点付近から離れた緑道近くでは、浸水が確認されているため、区で

				<p>は水害対策として、区道で雨水を地中に浸透させるため、浸透ますや透水性舗装等の整備をしております。さらに、雨水処理するための公共下水道を管理する東京都と連携しながら、対策に努めてまいります。</p>
36	<p>「三茶のミライ」の未来像、空間デザインの中からアイデアを取り入れた再開発を実現していきたい。</p> <p>街の建物には、防災面に問題があり早急に改善を要するものなどもあり、再開発準備組合も検討を進め、地権者が再開発の推進を望んでいる。現実的な街づくりに本格的に着手していなければならないのではないか。</p>	その他	その他	<p>三軒茶屋駅周辺は、賑いと活気に満ち、多様な機能を備えた拠点とするため、また、老朽化した建物が幅の狭い道路に沿って建ち並ぶなど防災面での課題も抱えており、国道246号と世田谷通りに接する地区において、関係権利者により構成する市街地再開発準備組合が、再開発への合意形成に向け取り組んでおり、区はこの取り組みを支援しています。</p> <p>再開発にあたりましては、まちづくりの基本計画となる「三茶のミライ」のもと、創意工夫を図る再開発準備組合を支援し、9つの未来像実現に向けた取り組みを進めてまいります。</p>
37	<p>区の基本姿勢として個別の三軒茶屋とその近隣地域のみを視るのではなく、本計画が全区民にどう関わりどういう利益をもたらすのか、区を俯瞰する視点から吟味し考慮し進めるよう要望する。</p>	その他	その他	<p>区では、世田谷区都市整備方針において、主として商業業務機能および文化情報発信機能が集積し、全区的な「核」とすると同時に、本区を越えた広域的な交流の場を「広域生活・文化拠点」とし、三軒茶屋、下北沢、二子玉川駅周辺地区の3地区を位置づけています。</p> <p>三軒茶屋駅周辺地区は、本区の文化や観光の発信地となっており、渋谷副都心に近接し、道路・交通の集散する拠点であることを活かし、商業・サービス、業務、文化などの機能が充実した、親しみやすく庶民的雰囲気をもつ拠点とする、としており、これに基づき三軒茶屋駅周辺でのまちづくりの進め方を明らかにする目的として、三軒茶屋駅周辺に関わりを持つ多様な主体と「三茶のミライ」をとりまとめました。策定後、社会実験や多様な主</p>

				体と連携した活動のフィードバックからまちづくり活動と広域生活・文化拠点としてのまちの発展に向けた取組み内容を具体化し、「三茶のミライ」を実現してまいります。
--	--	--	--	--